



平成23年度に取組みを開始した船橋二和病院では、以前から育児休業明けや療養休暇明け等の長いブランクによって生じる不安を取り除くため、特に子育てとの両立には、きめ細かい支援が行われています。今回は、保育士が子どもの成長・発達の視点から看護師の働き方への提言をして「子育ての不安を軽減」し、「定着推進」している取組みを紹介いたします。

取組開始時より、「心かよいあう看護が提供できる職場作りのために環境を整備をする」ことを目標として、多職種を含め病院全体でWLBの周知と浸透の継続をしてきました。当院では、従来より“保育施設運営委員会”を設けて院内保育のあり方を検討してきました。WLB推進メンバーの構成員にも保育主任を加えて職場復帰支援に力を入れてきました。



保育施設運営委員会（左から保護者代表介護福祉士、宮下総看護師長、保育主任、栄養士、総務課長）

### 育児休業後の 3交代勤務への不安

- 当直明けや深夜勤務の日は夕方まで預かってもらえる
- 準夜勤務の日は、深夜に帰宅することなく朝まで保育室で子どもと一緒に過ごせる

⇒私も子どもも助かる

### 職場復帰への不安

- 職場復帰の際の手法方法を詳しく説明してもらえた
- 懇親会等で、離乳食についての助言をもらったり、母親同士の繋がりができた

⇒安心して復帰できた

### 保育士の立場から

- OWL B推進メンバーとなり看護業務の大変さが理解できた

⇒看護業務を理解した上で子どもの発達を支援する立場として、サポートを継続したい

病児保育は、院内の小児科を受診し保育施設使用可能となれば、そのまま預けることができます。非常勤職員にも、保育施設の使用が可能です。



左から戸石総務課長、宮下総看護師長、吉田副総看護師長

#### ◆宮下総看護師長◆

中堅看護師への研修制度の充実や認定看護師取得者への待遇改善、保育環境の整備等に取り組み、より働きやすくなった当院に、一度離職した看護師が戻ってきています。退職の際には、キャリアを積んで復職することを期待して「いってらっしゃい」と声をかけて送り出しています。・・♥♥。この取組みをとおして、職員一人ひとりを大切にしていけることが重要だと学びました。

#### ◆復職した看護師より◆

三次救急病院へ転職し、やりがいを持って働いていましたが、自分の目指す看護を求めて船橋二和病院に戻りました。患者中心に議論ができる環境や、子育てとの両立が可能な勤務を考慮してもらい、働きやすい環境で楽しく仕事が出来ています。

#### ◆勤務表作成をする師長より◆

勤務表で職員の生活の時間が決まります。患者さんに安全な医療・看護を提供できる人員配置と労働時間を確保しながら、「愛のある勤務表」作成を心がけています。

取組後5年目となった現在の継続的課題は、「時間外労働削減のための業務改善」「夜勤・交代勤務の負担軽減」「中堅看護師の満足度を上げる対策」です。より働きやすい勤務環境を目指して今後も取り組んで参ります。